



今号の
内容

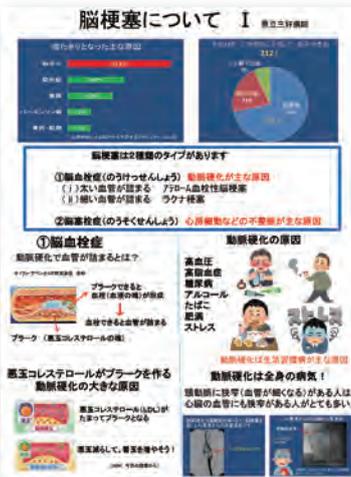
- ◆「脳卒中啓発ポスター展」を開催
- ◆「看護の日」のイベントを開催
- ◆「災害対応医療訓練」を実施
- ◆「一次救命処置講習」西祖谷中学校にて

徳島県立三好病院 脳卒中啓発ポスター展を開催しました

日時：令和元年5/27(月)～5/31(金)
場所：徳島県立三好病院

5/27(月)から5/31(金)の5日間は日本脳卒中協会によって「脳卒中週間」と定められています。これは脳卒中の大部分を占める脳梗塞の発症が年間では春に少なく6～8月から増加することや、一般に「脳卒中は冬に多い」というイメージがあり、脳卒中は夏から気をつけなくてはならないということを知っていただくためには、その直前である5月の終わりが適切と思われるからです。

当院でも期間中、脳卒中に関する啓発ポスター展を開催しました。



脳卒中のうち脳梗塞は寝たきりとなる原因の3分の1を占めているほか、当院においても脳卒中患者の7割を占める疾患です。

脳梗塞はアテローム性血栓症及びラクナ梗塞、脳塞栓症に大別されます。前者は動脈硬化部位に悪玉コレステロール(LDLコレステロール)が蓄積してプラークを形成し、そこに血栓が付着して血管を塞いで発症するもので、脂質異常症や糖尿病などの生活習慣病やアルコールの過剰摂取や喫煙、ストレスなどが大きく関与していると言われています。一方、脳塞栓症は心房細動などの不整脈により、心房内で血栓が形成され、その血栓が血流に乗って脳内の血管を塞ぐことで起こります。

また脳梗塞には、一過性脳虚血発作(TIA)と呼ばれるものもあり、脳の一部の血流が一時的に悪くなることで、片方の手足が動きにくくなる他、ロレツがまわらなくなるなどの症状が見られます。しかし、24時間以内に症状が完全に消失するため、脳梗塞の前触れだと気づかずに放置してしまうケースが多々あります。

ではもしTIAと疑われる場合どうすればよいのかというと、基本的には医師の診察を受け、どんな症状が、どの程度、どれくらいの時間続いたかなどを正確に伝える必要があります。また、血栓を防ぐお薬を自分の判断で中止することは、脳梗塞の発症リスクを高めてしまうので、絶対にしないでください。

脳梗塞の治療は、発症から4時間半以内でないと行えないものがあるので、異変を感じたら、すぐに救急車を呼びましょう!



次のような症状が発生したら、救急車を呼び直ちに受診しましょう!

- 片方の手足、顔半分の麻痺・しびれがおこる。
- ロレツがまわらない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない。
- 力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする。
- 片方の目が見えない。ものが二重に見える、視野の半分がかける。
- 経験したことのない激しい頭痛がする。
- 重症の際は意識がなくなることもあります。

『看護の日』のイベントを開催しました

1990年厚生省は、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を『看護の日』と制定しました。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女問わずだれもが育むきっかけとなるよう、当院では5月15日に『看護の日』のイベントを開催しました。

来院中の患者さんやご家族、地域住民のみなさまに健康相談などのイベントコーナーを体験していただき、楽しみながら健康づくりや看護に触れていただく良い機会となりました。また、恒例となった似顔絵師さんによる似顔絵コーナー、アロマセラピストさんによるハンドマッサージなど、みなさまに好評でした。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



～イベント内容～

健康相談・健康チェック
体脂肪測定・肺機能測定
手洗いチェック
足湯コーナー
似顔絵コーナー
アロママッサージ



健康チェック



体脂肪測定



足湯コーナー



手洗いチェック



似顔絵コーナー



アロママッサージ



災害対応医療訓練(夜間想定)を実施しました

令和元年6月8日(土)に夜間に大規模な地震が発生した想定で訓練を実施しました。

三好病院は、災害拠点病院に指定されており、大規模災害が発生した際、24時間緊急対応し、被災地内の傷病者の受入れ及び搬出を行うことが可能な体制を整えておく必要があります。

しかし、夜間に災害が発生した場合、職員が参集することが困難であることも想定されます。そのような場合でも、限られた人数の職員で災害対応できる体制を整えることが出来るよう、日頃からの訓練が重要となります。

今回の訓練では、各部署に備えられている夜間発災時の活動手順が記載された「アクションドリル」に従って、災害対応の準備が出来るかどうかを検証することを主な目的としました。各部署では、アクションドリルに従って、患者の安否確認やライフラインのチェックなどを行ったり、傷病者の受入れの準備を行ったりしました。

訓練後のアンケートでは、戦略・戦術に関すること、手順書に関すること、資器材に関することなど、117件の課題や意見が集まりました。現在、それらの課題を検証し、災害対応手順の改善にむけて作業を進めています。



西祖谷中学校一次救命処置講習を実施しました

令和元年6月7日(金)、西祖谷中学校にて、一次救命処置講習会を実施しました。

当日は、櫛生小学校、吾橋小学校の生徒の皆さんも集まって、地域の防災訓練の一環として行いました。はじめに、校舎内に緊急地震速報が流れ、身の安全を確保するシェイクアウト訓練を行い、続いて、一次救命処置の講習を行いました。講習では、倒れた人を見付けた時に助けを呼ぶことや、胸骨圧迫の仕方、AEDの使い方について学びました。生徒、教員の皆さんともに積極的に取り組まれていました。



～県立三好病院基本理念～

『誠実』で『信頼』される病院となる

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910
発行 徳島県立三好病院 広報委員会

臨時看護師募集

随時募集しています。詳しくは当院ホームページをご覧ください。
<http://www.miyoshi-hosp.jp>

ご意見・ご要望がございましたら、ホームページ、または院内で意見箱までお願いします。
広報バックナンバーは、ホームページ <http://www.miyoshi-hosp.jp> にてご覧になれます。

令和元年7月発行